

BASSOON:  
Cyprian Swięch

ファゴット:  
ツイプリアン・シフィエンフ

VIOLIN:  
Alexander Ivanov

ヴァイオリン:  
アレクサンドル・イヴァノフ

CONDUCTOR:  
Mitsuyoshi Oikawa  
及川光悦 指揮

# Mozart Virtuoso Festival Orchestra

モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団第71回定期演奏会

紀尾井ホール 2019.3.26 火 開演19:00(開場18:30) 全席自由 ¥5,000  
7:00 p.m. Tuesday, March 26 At Kioi Hall

## PROGRAM

モーツァルト作曲：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K.191 MOZART: BASSOON CONCERTO IN B FLAT MAJOR, K.191

◆ ファゴット：ツイプリアン・シフィエンフ BASSOON: CYPRIAN SWIECH ◆

ベートーヴェン作曲：ロマンス 第1番ト長調 作品40 BEETHOVEN: ROMANCE No.1 IN G MAJOR, Op.40

ロマンス 第2番ヘ長調 作品50 ROMANCE No.2 IN F MAJOR, Op.50

サラサーテ作曲：ツイゴイネルワイゼン 作品20 SARASATE: ZIGEUNERWEISEN, Op.20

◆ ヴァイオリン：アレクサンドル・イヴァノフ VIOLIN: ALEXANDER IVANOV ◆

## INTERMISSION

ベートーヴェン作曲：交響曲 第7番イ長調 作品92 BEETHOVEN: SYMPHONY No.7 IN A MAJOR, Op.92





# 出演者プロフィール

## 指揮 及川光悦 Mitsuyoshi Oikawa Conductor

1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。1975年10月、研究科在学中に推薦されバリ留学。エコール・ノルマル音楽院にてピエール・デルボー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマール・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国、故郷城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、チェレビダツケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ザバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、パリオベラ座、パイロイト音楽祭、ペロナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積む。1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新星日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11・PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。

1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもと「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「Jウェーブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）マルティヌーフィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故園田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団（旧モスクワ放送交響楽団）」、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、ヤロスラブリフィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）・中国電影楽団にて日中国交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。

1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ペトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化省の後援のもとでフランツ・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。

1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。

1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノク シンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月、日本・ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。

2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満敦子女史と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。

2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。

2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。

2011年10月、ポーランド（ピゴドシチ）ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランドEU議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。

2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。10月～11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。

2014年7月、ルーマニア政府より「文化功績勲章」を受章

## ファゴット ツィプリアン・シフィエンフ Cyprian Świąch Bassoon

1987年7月2日ピゴドシチ生まれ。

音楽教育はピゴドシチのアルトゥール・ルビンスタイン音楽学校で受け始める。ファゴット演奏は最初にズジスワフ・ドゥヴォジンスキ氏に師事。2012年、ショパン音楽大学にてファゴット科を修了。ボグミウ・ガダフスキ教授をはじめ、国内外で著名なファゴット奏者に師事。また、数々の指揮者とともに演奏を続けている。

共演した指揮者:Tomasz Bugaj, Tadeusz Wojciechowski, Jerzy Semkow, Evgeny Volynskiy, Andrey Boreyko, Gabriel Chmura, Jerzy Swoboda, Jerzy Salwarowski, Jerzy Maksymiuk, Marcin Nalecz-Niesiolowski, Krzysztof Penderecki, Marek Pijarowski, Monika Wolińska, Rene Gulikers, Theodor Guschlbauer, Krzysztof Kusiel-Moroz, Mirosław Jacek Błaszczyk, Krzysztof Słowiński, Kai Bumann, Maxim Vengerov, Tadeusz Strugała, Sławomir Chrzanowski, Rafał Payare, Antoni Wit, Michał Nesterowicz, Michał Dworzyński, Mischa Santora, Kazimierz Kord, Jan Krenz, George Tchitchinadze

「ポーランド・オーケストラ シンフォニア・イウヴェントウス」の中で、最初のファゴット奏者としてポーランドラジオ放送のために記録録音を行う。中でもクシシュトフ・ベンデレツキの作曲した全曲集の作成に積極的に関わる。

これまでラドム室内楽団、ピゴドシチ・ポモージェ交響楽団、ワルシャワ・音楽劇場、ワルシャワ・ショパンアカデミーオーケストラで演奏。ソリストとしてもモーツァルトのファゴット協奏曲変ロ長調、ウェーバーのファゴット協奏曲ハ長調、ベルワルドのバスーンとオーケストラのためのコンツェルトシュツトゥック (Bassoon Konzerstück) を演奏するなど、活発な活動に今後も期待が高まる。

主な受賞歴

2009年 第7回シュチェチン木管コンクールで第1位。

2010年 第8回ワルシャワ木管アンサンブルコンクールで決勝出場、特別賞受賞（木管五重奏部門）

2018年3月より、ミエチスワフ・カルウオヴィチ交響楽団（シュチェチン）にファゴット奏者・ソリストとして所属。

## ヴァイオリン アレクサンドル・イヴァノフ Alexandar Ivanov Violin

アレクサンドル・イヴァノフは、1993年8月4日ソフィア生まれ

5歳のときPetar Arnaudov氏の教室でヴァイオリンを習い始めた。6歳でソフィアの国立音楽学校「リュボミール・ピブコフ」へ入学する。2004年、ソフィアで開催された国際コンテスト第1回「Young Virtuosos」で優勝。同年ソフィアシンフォニーのソリストとしてデビューを果たした。2006年には国立音楽アカデミー（ソフィア）ヴァイオリン主任教授Yossif Radionov氏の教室で学ぶ。2012年Yossif Radionov教授の教室にヴァイオリン首席として、パンチョ・ヴァディゲロフ国立音楽アカデミーへ入学。2017年修士課程を修了。

イヴァノフは室内楽のメンバーとしてまたソリストとして以下の国でリサイタルを開催

Bulgaria (ブルガリア)・Turkey (トルコ)・Russia (ロシア)・Poland (ポーランド)・France (フランス)・Hungary (ハンガリー)・Austria (オーストリア)・Germany (ドイツ)・Italy (イタリア) Spain (スペイン)・Switzerland (スイス)

Youth Philharmonic —ベルリン・コンツェルトハウスでおこなわれた音楽祭「Young Euro Classic」にて演奏し、このオーケストラが最も名誉ある賞を受賞。またブルガリアでの賞「Crystal Lyre」オーケストラ芸術部門も受賞。

2017年にブルガリア国立フィルハーモニー・オーケストラのリーダーとして中国へのツアーへ参加する。